



あたごふれあい人権文化センターだより
2024年1月1日発行

発行：あたごふれあい人権文化センター
住所：〒682-0846
鳥取県倉吉市鴨河内 1818-2
電話：0858-28-5440 (FAX 兼)
E-Mail：atago@ncn-k.net

あたごふれあい人権文化センターだより
「心ゆたかに」に関するご意見・ご要望を
お寄せください。

謹んで新春のお喜びを申し上げます



昨年新型コロナウイルス感染症の5類移行で、各地で行事やイベントなどが開催されるようになりました。久しぶりの様々な人たちとの出会いに、コミュニティや人間関係の大切さを感じることもできました。「尊厳」ということばをある辞書で引くと、以下の説明があります。

- ・「尊厳」とは、人間が持つ生命や人格を尊重し、その価値を認める態度を指す言葉である。
(人間が生まれながらにして持つ権利であり、他人による侵害や侮辱から保護されるべき存在である。)
- ・「尊厳」は、個々の人間が自己を尊重し、他者を尊重することで実現される。
- ・「尊厳」は、法律や倫理、道徳の領域で重要な概念とされている。
(人権宣言では「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」 医療現場では、患者の尊厳を尊重することが求められる。)
- ・「尊厳」は、人間関係や社会生活においても重要な役割を果たす。人々が互いの尊厳を尊重し合うことで、平和で公正な社会が形成される。尊厳を尊重することは、他者を理解し共感することにつながり、人間関係の調和を保つ上で不可欠である。
「尊厳」が守られる社会になるよう願って、今年も学びと繋がりを深めてまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



あたごふれあい人権文化センター職員一同

あたごふれあい学習会調査活動発表会・閉講式

あたごふれあい学習会調査活動発表会・閉講式が12月1日に行われました。テーマを「あたご山しらべ」と「天神野台地のひみつ」の2つにし、調べてみたい方を選んでグループを組みました。異学年のグループとなりましたが、みんなであたご山に登ったり、資料を調べたりと協力して取り組みました。当日は体調不良で欠席の児童もいましたが、みんな大きな声でしっかりと発表することが出来ました。



来年度からの小学校統合により、あたごふれあい学習会としての活動は最後になりますが、これからも上小鴨地区児童が地域や仲間を大切にしながら人権感覚を育てていけるよう事業を推進していきたいと思っております。

差別落書きは重大な人権侵害です！

※差別発言に遭遇した場合や差別落書きを発見した場合、また悩みごと、生活に困っていることなど、人権政策課または最寄りの人権文化センターへご相談ください。

人権政策課

TEL 0858-22-8130

あたごふれあい人権文化センター

TEL 0858-28-5440



ホロコースト犠牲者を想起する国際デー 1月27日

◎国連総会は、2005年11月1日にユダヤ人3分の1、そして無数のマイノリティ（社会的少数派）の人々が殺害されたホロコーストを再認識し、憎悪、敵対感情、人種差別、偏見がもつ危険性を永遠に人々に警告することを目的に、総会議案を採択しました。この決議は、ユダヤ人強制収容所のアウシュビッツが解放された1月27日を「ホロコースト犠牲者を想起する国際デー」と決めました。（想起＝前にあったことを思い起こす）

◎罪のない多くの人々の命を奪ったホロコーストは、決して過去のものではありません。この悲劇を決して忘れることなく、「ホロコーストとは何か、どんなことが起こったのか」を学ぶことが大切です。ホロコースト自体、政治家だけでなく実際には多くの一般市民が、意識的あるいは無意識的に差別行為へ加担したことで、大規模な残虐行為に発展してしまったことが原因であると、わたしたち個人も認識する必要があります。

負の歴史を繰り返さぬよう、過去の歴史を振り返り「歴史の事実を基に、わたしたちが平和な世界に向けて出来ることは何か」を共に考え、みんなで話し合い、誰もが差別なく生きやすい社会や平和な世界の構築を模索する必要があるとされています。まずは一市民として、「平和や自由は司法の下に成り立っている」「政治と暮らしは繋がっている」ことを意識し、周りの出来事に関心を向けながら毎日を過ごしてみましょう。



「ホロコースト」とは…

1930～40年代にかけて、ナチスドイツ政権およびドイツ国内外の市民が行った、国ぐるみの組織的な大量虐殺・迫害のことです。1933年ヒトラー率いるナチス党がすべての権力を手にし、独裁政権が始まったことにより1941～44年にその動きは加速したとも言われます。虐殺や強制労働など、ホロコーストによって約600万人のユダヤ人が命を落とし、そのうち約150万人は15歳以下の子どもだったとされています。他にも、障がい者や少数民族など、マイノリティの人々も犠牲になりました。

第47回 倉吉市部落解放文化祭

～人間解放の文化を創造しよう～

日にち：2024（令和6）年1月26日（金）～28日（日）

場所：倉吉未来中心 小ホール・アトリウム

くわしく
はチラシ
をみてね

《発表・講演》

日時：1月28日（日）13:30～15:30まで（開場13:30）場所：小ホール

演題：自分の好き！を大切に生きて生きる

講師：井谷優太さん（サウンドクリエイター）

《作品展示》日時：1月26日（金）～28日（日）9:00～16:00まで 場所：アトリウム



1月のあたごふれあいサロン

日時：1月26日（金）13:30～

内容：「ボッチャを体験してみよう」 *申込みは不要です。



ボッチャは、ヨーロッパで生まれた重度脳性麻痺者もしくは同程度の四肢重度機能障がい者のために考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ジャックボール（目標球）と呼ばれる白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競うゲームです。皆さんで、楽しく体験してみましょう。